

多可老

# 市の積立基金は有効に運用を

# 伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
TEL：72-2465  
HP：jep上伊那

## 共産党市議団が修正提案

9月議会で、党伊那市議団は第4回一般会計補正予算案に、修正動議を提出しました。  
市側の補正予算案では、昨年度の決算繰越金を財源に財政調整基金3億円と、ごみ処理施設積立基金2億円を増やす議案でした。

### 道路や水路改修費の増額求める

これに対し共産党の修正動議は、財政調整基金積立を4千万円減らし、道路維持修繕費に3千万円、農地費の市単独土地改良費に1千



上の原保育園への未満児保育出入口近くの道路。舗装をし直す要望が出ています。冬になると凍み上がります。

万円を増額を求めたものでした。

「道路や水路の改良や補修費は少なすぎる。増額して何年も壊れたままのところは補修するべき」という党市議団の提案に対して、他派の議員から「合併特例はあと2年で終わる。今積み立てないともうできない」「将来どうするかという政策判断と水路の改修を同列に論じることは誤り」などの反対討論があり、残念ながら、動議は否決されました。

### 基金残高110億円は健全化目標を超過

伊那市の基金積立額は110億円に達しています。党の議員は、議会的一般質問で「市の財政方針は、あまりにも実質公債費比率や

将来負担比率を下げることや、行政改革にこだわり過ぎていて、年間19億円の基金積立は過大。節約した財源は、福祉・子育て支援・教育・水道料金引下げ・下水道企業債の繰上返済・道路の維持補修費に使うべき」と質問しました。

白鳥市長は「将来に備えて貯金は大事。合併後10年を過ぎると、国からの交付税も減る。基金は今後保育園や学校の整備、環状北線など幹線道路整備などに使う」と答弁。しかし、県下の合併した市で伊那市ほど毎年、基金を増やしている市はありません。市民の納めた税金は、過大に積み立てず有効に使うべきではないでしょうか。  
党市議団は、今後も、市民のみならず共に、道路や農業用水路の改修など、暮らしに直接係わることへの予算の増額を求め全力で取り組みます。(柳川ひろみ)

## 市政報告会のご案内

とき  
11月16日(日)  
午後1時30分～

ところ  
高遠公民館「やますそ」  
1階集会室

## 地蜂

台風の行方が気がかりな週末の夜、田楽座50周年記念公演を鑑賞しました。エネルギーッシュで華やか、若さ弾ける舞台に

圧倒され目はくぎづけ。初めて聞くのどこか懐かしい響き▼歌舞劇団田楽座は、1964年10月民俗芸能の継承と発展に人生をかけて集まった若者12人で旗揚げ。「八畳二間の本部、近所の農家への分宿、本部前の広場や神社の境内や公民館が稽古場・これが田楽座創立当初の状況」と創立の翌年入座の松田満夫さん▼黄金色に盛り上がるように実っていた稲穂も、すっかり穫り入れが終わりました。今年も無事に収穫できてよかった！そしてまた来年も・・・と願うとき、その感謝や祈りはお祭りの太鼓やお囃子のような形でごく自然に表現されてきたんだろーと思えます▼衝撃を受けたのは米価の暴落です。これまでももうけなどまったく出ない中、なんとか作ってきた田んぼを政府はいったいどうしようというのでしょうか。「田楽」とは田の仕事を腰鼓で囃すことをいいます。平安の昔、それをなりわいとした人々がいました。先祖代々連綿と作り続けてきたからこそ今があります。変わっていくものと変わらないもの、変えてはいけないもの・伊那の田園風景を守るのには、今を生きるわたし達です。(T)

# 集団的自衛権行使容認反対を訴えて 平和の祭典を開催

九条の会  
伊那市  
連絡会

10月19日、九条の会伊那市連絡会は、いなっせ多目的広場で「平和の祭典」を開きました。

安倍政権が、憲法九条の精神を踏みにじり、戦争する国づくりを進めている情勢を踏まえて、「共同の力で目に見える行動をつくろう」と計画されました。

秋晴れの下、舞台では、歌やオカリナ演奏、また、戦争体験者のお話もあり、いろいろな形で「平和」の想いが表現されました。

最後の行進も、風船を手に持ち、「勝利をわれらに」をギター伴奏で歌いながらのもので、変化のある行進になりました。



安倍内閣の「集団的自衛権行使容認決議」撤回と「憲法9条を守れ」を訴えて行進する祭典参加者

## 西春近の 太陽光発電所など視察 のぞみの会



太陽光発電所を視察する参加者

西春近細ヶ谷に住民の声を無視して、太陽光発電所の建設を強行し、反対運動を扇動したなどとして片桐建設が、住民の土生田さんに損害賠償など6千万円を請求する訴訟（恫喝裁判）を起こしました。これに土生田さんが反訴し、係争中の現場を、伊那のぞみの会が、10月7日視察し、報告会を行いました。また、小沢地区の建設予定地の視察も行いました。

## 上伊那で初！第13回県高齢者大会開かる

10月4日、宮田村民会館で、上伊那で初めての県高齢者大会が開かれました。

大会スローガンは「『戦争で生きる国』づくりを許さず、憲法を活かし、平和とくらしを守るため共同の輪を大きくひろげよう！」と「ひとりぼっちの高齢者をなくし、安心できる暮らし・地域をつくるため、私たちから声をあげ、学習と交流を活発に元氣良く取り組もう！」の二つ。

約300人の参加者が、上伊那生協病院の福富医師の講演などから、「いのちと医療」「いのちと政治」との関わりについて考える機会となりました。来年は下伊那で開催されることも決まりました。

## 全国の住民運動を萎縮させてはならない

### スラップ訴訟第4回裁判記

（株）片桐建設の西春近細ヶ谷地区におけるメガソーラー建設に関し、根拠のないデマを流布・扇動しその中心になって運動したなどとして住民の土生田勝正さんを訴えた損害賠償事件の第4回口頭弁論が今月15日、地裁伊那支部でありました。

今回の裁判で会社側は、土生田さんの質問・要望内容等に科学的根拠がなく、事実にも反していたなどとして、これらにより本件施設を危険なものと認識され、企業イメージを損ねられ、信用を傷つけられたと主張しました。施設周辺住民がメガソーラーの建設・稼働による不安を質問・要望するのは当たり前であり、会社の主張に道理はありません。

訴訟後、集会で土生田代理人は、全国の住民運動を萎縮させないためにも負けられないと支援者らに訴えました。次回は12月17日午前11時15分です。署名集約中。（I）



# 国民いじめの安倍内閣打倒へ

## 赤旗信州秋まつりに3000人

10月12日  
松本市のやまびこドームで開催された赤旗信州秋まつりに伊那地域から2000人が駆けつけ全体で3000人が集いました。



来年春の県議選をはじめ、いっせい地方選などの予定候補者紹介と挨拶の後、記念講

演で笠井あきら衆院議員が「安倍政権の『亡国』の政治をやめさせるとき、長野県から変えるチャンス」と、国会やアジア諸国などとの外交でも、存在感を増している共産党を強く大きくしてほしいと力強く訴えました。参加者は「ようし」などのかけ声や大きな拍手で応え、熱気に包まれた集会になりました。伊那からの参加者からは「晴天にめぐまれ、県議や笠

井さん、井上哲士さんのまとまった話を聞いてよかった」「内閣打倒は久しぶり、国民に悪政の安倍内閣は辞めさせたい」「安眠枕や布ぞうりを買えてよかった」などの感想が寄せられました。

### フォトボックス



10月18日に開かれた上伊那民商主催の「消費税問題学習会」。しらかば会計事務所の土屋信行税理士を講師に迎えました。

## 窓の市議

### 米価の大暴落

### 飯島光豊

秋晴れの収穫の秋なのに米生産農家の顔は曇っています。今年は天候不順で減収の上に、米価が1俵(60キロ)8千〜1万円とい

う大暴落の異常事態に突入しているからです。上伊那農協の米価の内金(概算金)は、等級の良いものでやっと1万2000円。しかし米の生産コストは約1万6000円もかかりますから、このままではコメ農家は赤字になってしまいます。それどころか来年のコメの再生産すら危うい非常事態となっているの

です。暴落の要因は、安倍内閣の「新自由主義」路線と「ミニマムアクセス米」輸入などによる米過剰にあります。半減・廃止、「米価変動補てん交付金」廃止

がこの米価暴落に拍車をかけています。しかし安倍内閣は何の暴落対策もとらうと

しません。私たちは上伊那農協とともに、緊急対策として暴落を抑えるための過剰米の政府買い上げをいま強く要求しています。

が人々を襲ったことによるようです。

## シリーズ クマと私の付き合ひ (1)

建石繁明

今年クマによる、人に対する加害(被害)が非常に多く、県内での事例が報道されています。クマといっても、無論、ツキノワグマのことです。

ツキノワグマは山林に生息し、海拔2千メートル位まで棲んでいます。クマの研究者の調査によると、今のクマは里山に棲みそこで子育てもしているから、クマにとって人は不快な動物ではなく、自動車や農作業用トラクターも日常的に見て育ちますから驚きません。

今や、クマは山に棲む動物ではなく、里に棲む動物に進化しています。被害にあわないためには、クマの行動生態を知ることが大切です。クマも食物を食べた糞をします。クリを食べたらクリうんち、カキを食べたらカキうんち。餌を採るために木に登れば幹に爪跡、クマ棚、畑や山を歩けば踏み跡として足跡を残します。糞、食べ滓、クマ棚(爪跡)、足跡があったら、クマが居た証拠ですから、被害にあわないためにはフィールドサインを見落とさないことです。

私はツキノワグマの写真を写そうと、50年余も追いつけていますが、直近で写せたのはたった1回だけ。ナラの樹に登ってドングリを食べていても、私が近付くと木から素早く降りて逃げてしまいます。不幸にも、突然にクマに遭遇してしまったり、逃げ出したり、大声をあげないことだとされています。クマは黒くて動く物を見ると、自分に危害を加えるのではないかを確認するために人に接近する。それが人々を襲ったことによるようです。

# 随想

## 「50年」をふりかえって

富 県 竹 松 主 裕 かずひろ

私が教職を志し大学に入学したのは1961（S36）年です。当時は、○経済審議会が「人的能力開発」と称して国民の三〇五〇のハイタレント養成を答申、○文部省が小中学校の「道徳の指導資料」を発表し、愛国主義、復古主義を強調、○アメリカがベトナム戦争拡大、の時期でした。

この情勢の中で「どう生きるべきか」「今何をなすべきか」と、クラスの仲間の多くは、真剣に考え討論していました。友人も「民青」に加盟しており、私も勧められ入れてもらいました。程なく前衛党にも加入。

長野県の教員になって36年間、現場はあまりにも非民主的で管理体制が強く、驚きの連続でした。組合の役員は管理職から推薦された者がなり、役員選挙は一部の代議員による投票。それが全員投票に変わり、その結果、民主的な「長野県教職員組合」が誕生し、県の教育も大きく変革されました。私もその運動に微力ながら貢献できたことはこの上ない誇りであります。

「聞く耳を持たない強権政治」を推し進めようとする安倍内閣。でも、伊那市議会でも「TPP反対決議」の時とは大きく様変わりし「集団的自衛権行使の閣議決定撤回を求めた請願・陳情」に賛成9票、反対11票。大きな前進ではありませんか。

今後も富県地区のみなさんと手を携えて、また良識ある国民のみなさんを信じつつ、後半生を生き続けたいと思っています。

# 催し案内

- ☆ **三峰川周遊ウォーキング**  
11月1日（土） 午前9時～12時頃  
東春近榛原河川公園集合  
参加費 300円（おにぎり、トン汁付き）  
中学生以下無料  
主催 上伊那医療生協健康づくり委員会  
連絡先 組合員センター（79-8702）
- ☆ **第41回赤旗まつりバスツアー**  
11月2日（日）6:05市役所西側駐車場発  
バス代 4500円  
参加費 2500円  
（70歳以上2000円）  
申し込み（先着順） 地区委（72-2465）
- ☆ **市政報告会**  
11月16日（日）午後1時30分～  
高遠公民館「やますそ」
- ☆ **「脱原発」いな金行動**  
毎週金曜日午後6時～6時半  
いなっせ北側広場  
主催 さよなら原発上伊那の会  
連絡先 医療生協組合員センター  
（79-8702）

# 祭り

## めじしまい 女獅子舞

（東春近下殿島土蔵）



250年間続いているお祭り。鼓の音に合わせて女の獅子舞が舞い、行列が土蔵から春近神社まで練り歩く。今年は10月11日に行われた。

## 原水禁世界大会の報告会

10月5日、いなっせで、原水禁世界大会（広島）の報告会が行われました。大会に参加した医療生協や高校からの参加者、平和ゼミナールの高校生が大会の様子と感想を話しました。それぞれに「核兵器廃絶」の決意があらわれる報告でした。

特別講演の大出達雄さんは、「海軍航空隊予科練習生を受験し、気づけば「軍国少年」に育っていた。私は被撃せず戦争が終わったが、戦争は被害者であると共に加害者でもある」と戦争の悲惨さを語りました。